

りんくう

花見



今年の春は三寒四温の気温差が激しく、体調を崩しがちな気候でしたが、例年より少しだけ長く満開の桜を楽しむことができました。

春とえば『桜』。駐車場の桜が咲乱れた

『よその桜も観に行こう』というところで、舍人公園にあるレーガン桜を観に出かけようと外出を企画しました。しかしながら、残念なことにレーガン桜はまだつぼみ：（泣）急遽、場所を舍人公園内の他の場所に変更してお花見をしました。



外出も良かったのですが、せっかく敷地の中に桜が咲いているのですから、お弁当を用意して、桜の下でお弁当を食べようという企画をしました。



はいからさんの南宗王すだれ!

落語

法政大学落語研究会の皆様



2月は「文化祭」月間と銘打って日頃、文化活動をされている団体様をボランティアとしてお招きし、それぞれの活動を披露していただきました。日本舞踊から落語、マジックまでジャンルの異なる活動に触れることができました。活動の一部にはご入居者も一緒に参加できるものもあり大いに盛り上がり、楽しまれていました。

文化祭



午後のおやつには、お回子をご用意。『花より回子』とは良く言ったものです。お弁当でお腹はいっぱいなご様子だったはずの皆様。お回子は多いかな?と職員間で話していましたが、『甘いものは別腹』だったようで、ペロリと召し上がられていました。



まけにとても寒く、外での食事は断念せざるを得ませんでした。でも、お弁当も作ったので、ちょっと桜の花を失敬してテーブルに飾り、館内でお花見弁当をいただきました。お弁当は我が厨房職員の自信作!天ぷらや筍ご飯などが美味しい物が盛りだくさんで『美味しい』『食べきれない』など、大満足の音が聞かれました。



軽三味線少民謡老友会様



音楽会 鈴木佑梨様



楽器演奏少アンサンブル・ブルジョワ様



みなさま ありがとうございます



日本舞踊 藤流規扇会様



マジックショー 玉手箱 ひろし様



カラダダンス レイ・キエレイ様

安来踊り 安来友の会様

サウンドアシスト 音楽コンサート

ギター演奏会 伴 茂夫様

リレーエッセイ



「こころ」にちは。リレーエッセイを担当します、高野善治です。初めに、うーん何の話を書けばよいのか...と悩んでいる時に「子どもの話とか書いたら？」と助言をもらったのです。でも、いやいや、そんな気恥ずかしい...と尻込みをしていました。それで、私の素晴らしい介護論！とか、僕のステキな仲間たち！みたいな感じのかわいい文章を考えていたのですが、どうにもまとまらない。普段そんなことを考えていませんからね。そうして、やっぱり子どもの話を書くことにしました。今書いています時点で、2歳4か月になる男の子です。

まず、この子の凄いとこころは、生まれてから今まで、可愛くない時がないということですね。出産の時から休みの日を選んで産まれて来てくれたり、小っちゃい手の平でギョッと指を握ってくれたり、いつの間にか、何かいたずらが成功したみたいな顔で笑うようになったり、寝顔が可愛かったり、言葉を覚えてきたり、ハイハイしかできなかったのに今ではジャンプもできるようになったり、起きた時に「ねんねした！」と言って飛びついて来たりと、もう全てが可愛い。



子どもは可愛いばかりじゃないよ。と「子」言う人もいますが、今のところ可愛いばかりです。我がままも出るようになってきて、要求が通らないと泣き喚びたりもしますが、叱ったり、諭したり、あやしんだりしてると、なんとなく落ち着いてきて「うん」と頷くのも、とても可愛いです。お風呂に入る時、歯磨きをする時、寝かしつけている時なども「もっと遊びたい！」と嫌がったり甘えたりもしますが、それも含めて可愛いですね。



「こころ」で、子どもがいると家事の量も多くなっています。私はどうしても苦手にしているものがあります。それは食事。離乳食です（今は幼児食ですが）。清掃関係なら、ほぼ全てできるし、やるのですが、子どもの食事。これが難しい。なにが難しいかというと制限が多すぎるんですね。これはアレルギーになるかもしれない。これは刺激が強い。これはしょっぱすぎる。甘すぎる。って。それ、どうやって判断しているの？ってなりますよね。そんな感じで1年ちょっとと食事作りには手を出せなかった（出さなかった）のです。が、妻が「これはいかに」と思ったのか、簡単なマニキュアを用意しました。ご飯は80g、食パンだったら1枚、主食はこんな感じ、汁物はこんな感じ、みだいなマニキュアです。始めは本当に、淡々ながら、えーっ！やるのーっ？

と言いつつやらせてました。そのおかげもあってか、今では苦手ながらも、そこそこ幼児食も作れるようになりました。今では「やってよかったな」J'ouhrai思います。

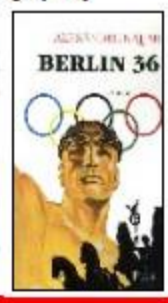
「こころ」の経験で思うのは「なんか難しいぞう」と思ってたけれど、案外できるような気がするんだなということ。ハードルが高いものでも、自分でも乗り越えられるくらい低くすればいいということですね。始めの一步、二歩、三歩くらいを進めば「自分でもできる」という自信が持てるので、続ければ1人前になれるそうです。こんなほんやりした感じですがこれで終わります。（まとめるのって難しいですね）

思い出 第4回

現在、リブインさくらに入居されているA様。定年後、暫くしてから始められたというワープロで、出生からの思い出を書き綴られているというお話しを伺いました。その思い出を、このりんどろでご紹介したく、ご依頼をしたところ、快く承諾をいただきましたので、抜粋をしてご紹介させていただきます。

ベルリンのオリンピックで 水泳の

前畑選手 見事優勝



今年（昭和11年）、2・26事件後、世の中の状況が変わりつつあった。5月1日のメーデーは禁止され、昨年まで夏になると各町会毎に盆踊り大会が1週間ほど盛んに行われ、町民のひとときの憩いでもあったが、今年はそれを政府から自粛するようにとのお触れが出され、静かな夏となった。

一方、第11回ベルリンオリンピックが8月1日から16日まで開かれ、我が国からも役員、選手総勢250余名を送り込み、各種目に参加した。時差の関係で実況放送は夜中に聞いた。

女子20M平泳ぎの実況放送で、前畑選手は1、2位を競う様子であり、アナウンサーが突然、実況放送そっちのけで『前畑ガンバレ』の応援に替わる声がラジオを通じて聞こえてくる。見事、一着となり会場に日の丸の旗を掲げることができた。

ベルリンオリンピック大会も終わり、第12回オリンピックは1940年、東京大会となる。4年後が楽しみだ。

生活風景



思いを書に込めて...



釣れました?



思い出は形に!

今回も様々な活動を行いました。いらした際にはぜひ、作品をご覧ください。書道では思い思いの言葉を書いていたきました



陽気も良く 気持ちイイ

漬物作り

食事の時に 皆でいただきました



眼鏡がスリ

喉元過ぎればなんとやら、とは良く言ったもので寒い冬が終わったかと思えばもう桜も散り、初夏の気候になってきました。シメジメした梅雨を越せば猛暑の夏がやって来ます。異常気象と言われて久しいですが、毎年の様に異常気象だとそれが「通常」なのではと思ったりもします。

とは言いまして暑さ寒さの四季があるからこそ旬ごとの美味しい食材や季節の移り変わりを感ぜられる綺麗な景色を楽しめるというものです。折角なので四季がある国に生まれたことを喜び、楽しみたいです。



毎朝毎夜日記